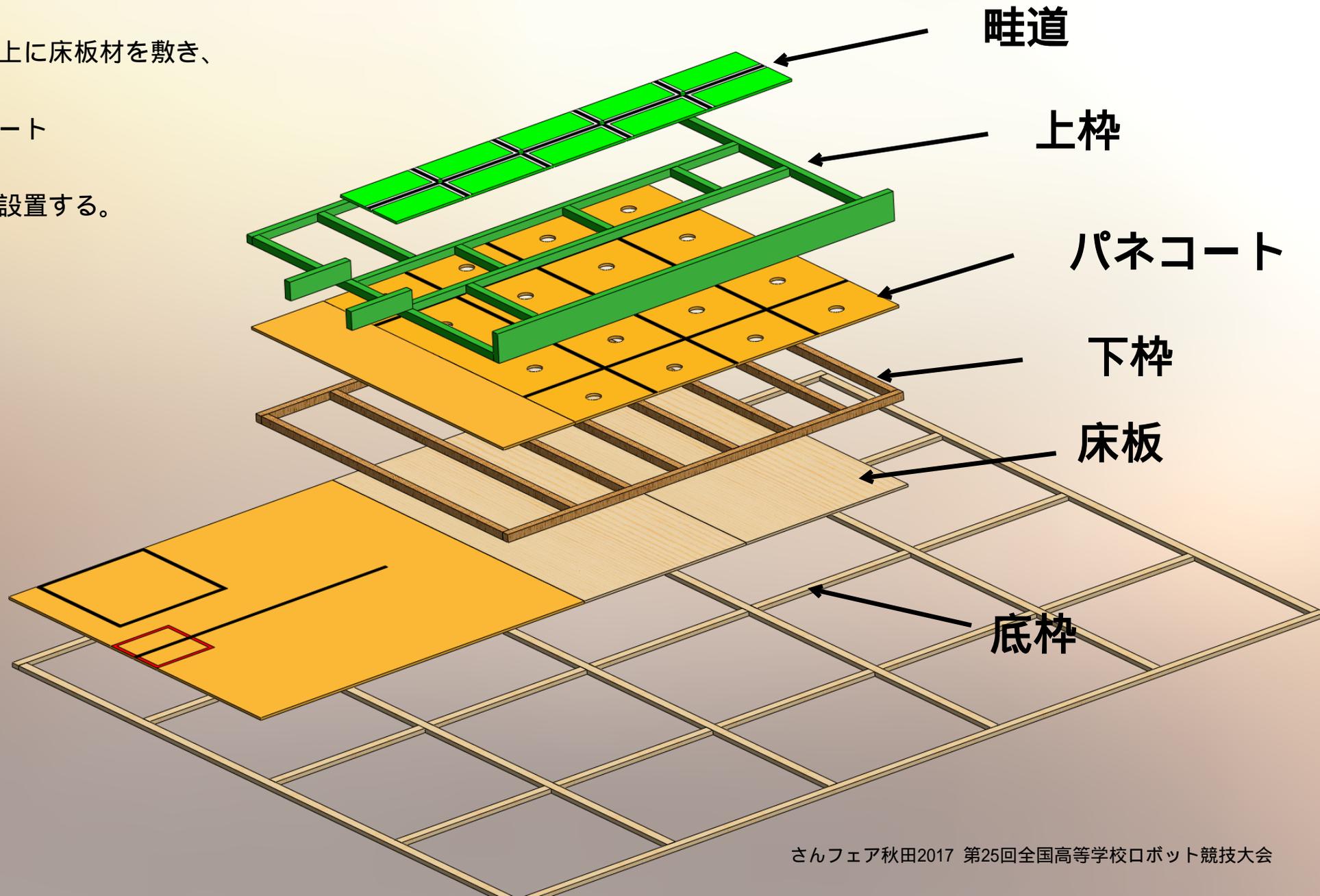


自立Rエリア コース分解図

・杉材底枠上に床板材を敷き、

下枠、
パネコート
上枠
畦道
を重ねて設置する。

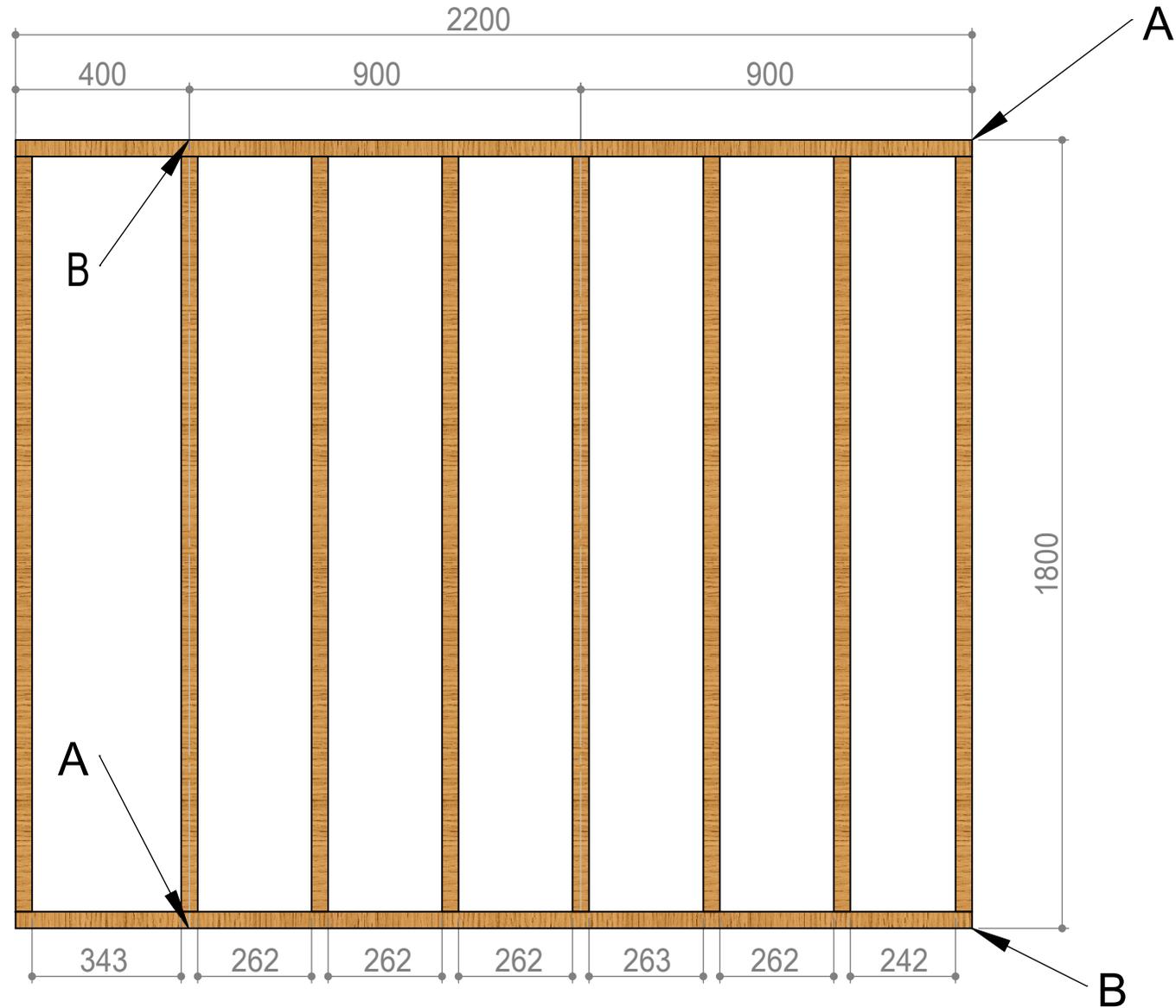


自立Rエリア 下枠

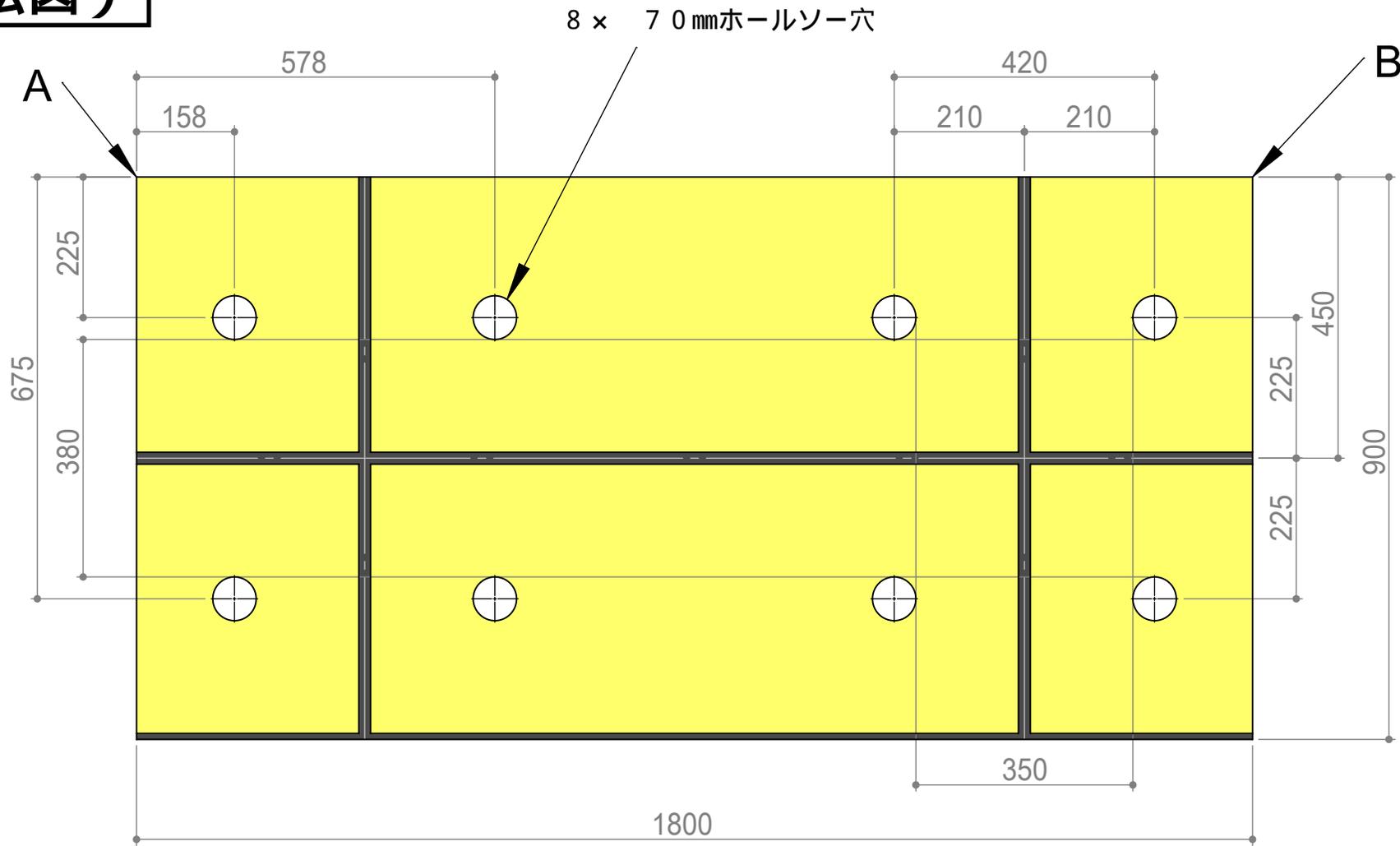
ツーバイツー材を使用

外枠1800×2200mmに枠組をし、
A・Bに穴加工済みのパネコートを含
わせて固定設置する。

寸法は概算参考値である。
内側のツーバイツー材で「稲穂」
設置穴を塞がないようにする。



自立Rエリア 水田エリア (穴位置寸法図)



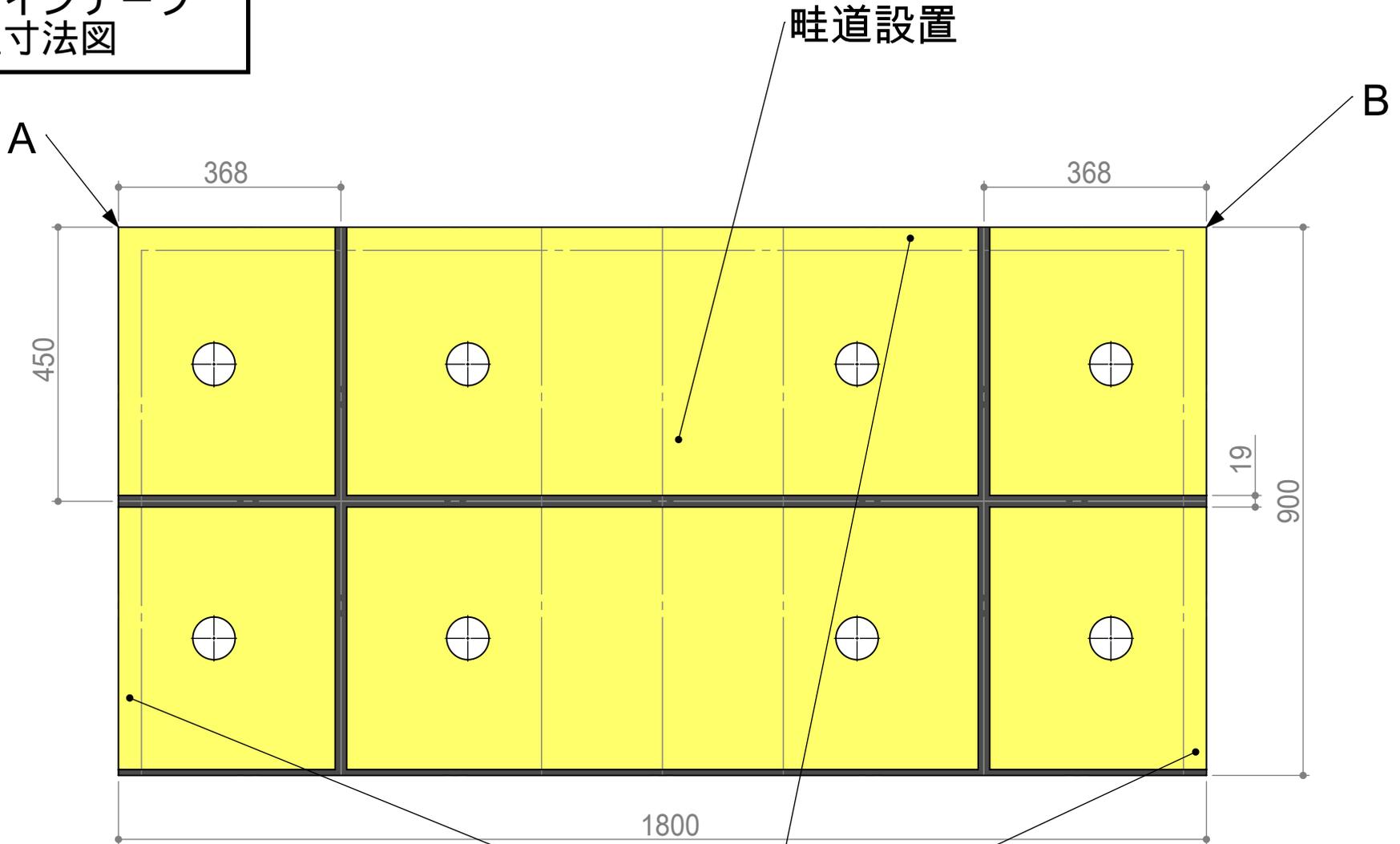
パネコート（黄色）を使用

穴中心間隔 縦 450mm（ライン中央より225mm）
横 420mm（ライン中央より210mm）

トレースライン中央より等間隔に設置する。

トレースラインの詳細は別図p-11参照

自立Rエリア
水田エリア
トレース用ラインテープ
貼り位置寸法図



Scotch3M 117(黒)幅19mmテープを使用
寸法位置がテープの中心になるように貼る。

畦道、上枠が設置される部分は必要なし。
上枠設置後、貼り付けても良い。
下部のラインは、板を2枚重ねた場合、
ラインの半分が表示されたものである。

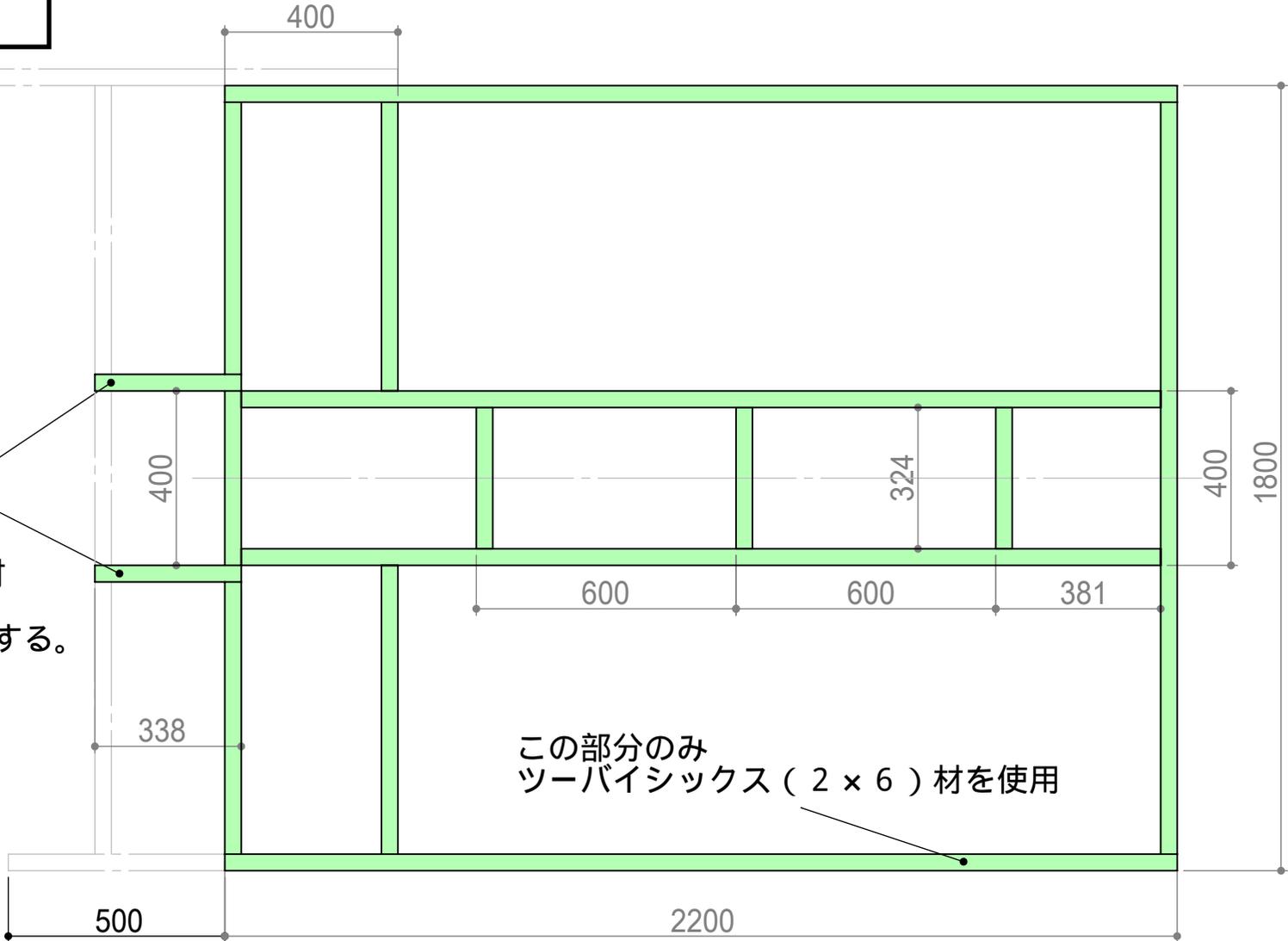
上枠設置

自立Rエリア 水田エリア (上枠組立寸法図)



自立直進用枠

枠左側面と堰上をツーバイフォー材 (L338mm) で上面に固定する。
コース枠固定用TUWA-40を使用する。



ツーバイツー (2 × 2) 材を使用。
一部前面のみツーバイシックス (2 × 6) 材を使用
組立前にグリーン色に塗装する。(塗料、色指定は特になし)
中央部の畦道板下の寸法は任意。(図寸法は参考値)
(自立補助者が「んだッチ」を取り除く時の補強材である。)

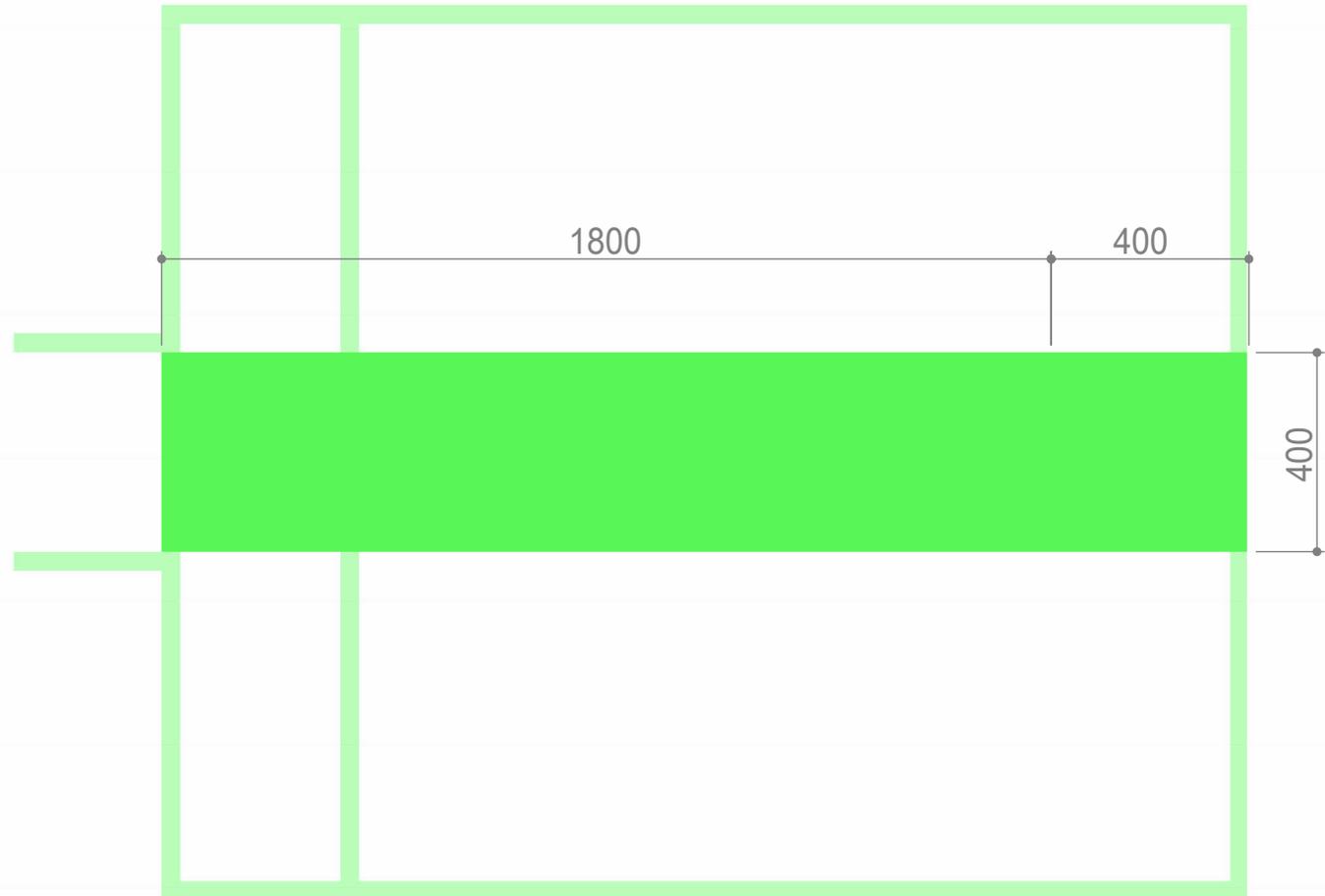
自立Rエリア 畦道エリア (畦道板組立寸法図)

パネコート板を使用

1800 × 400 × ~~t2mm~~ t12mm 1枚
400 × 400 × ~~t2mm~~ t12mm 1枚
を上枠中央部に固定する。

固定方法は任意とする。

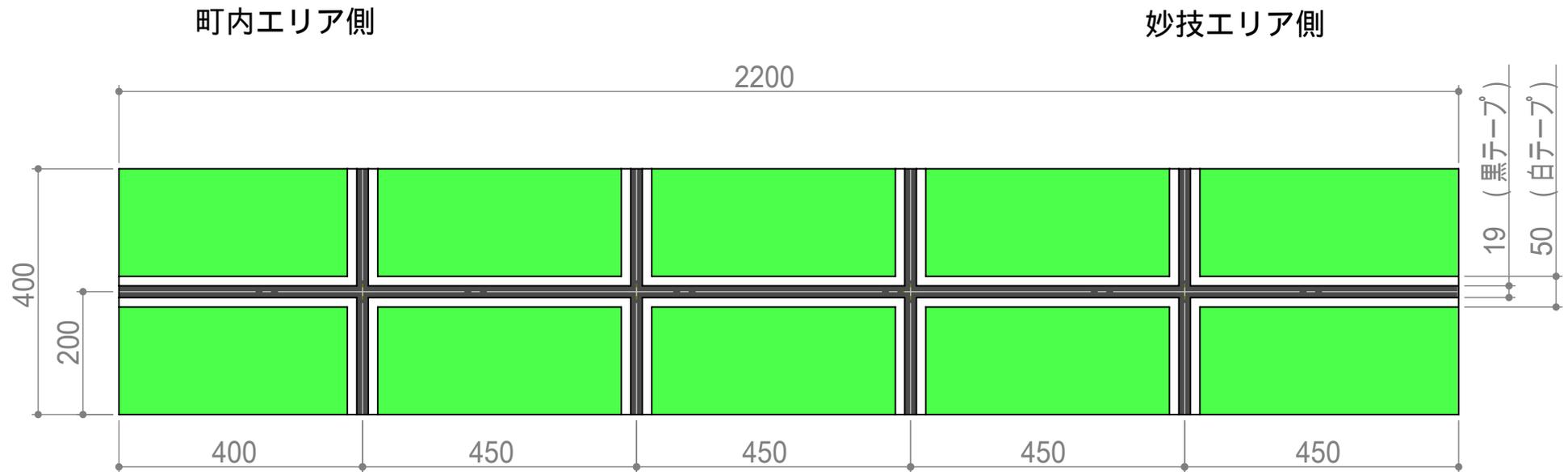
固定加工後グリーンシートを貼り付ける。
(の繋ぎ目をシートにより目立たない状態にする)



上記 のt2をt12に訂正し、

訂正版 _ _ (c) ver_2としました。

自立Rエリア 畦道エリア ラインテープ寸法図

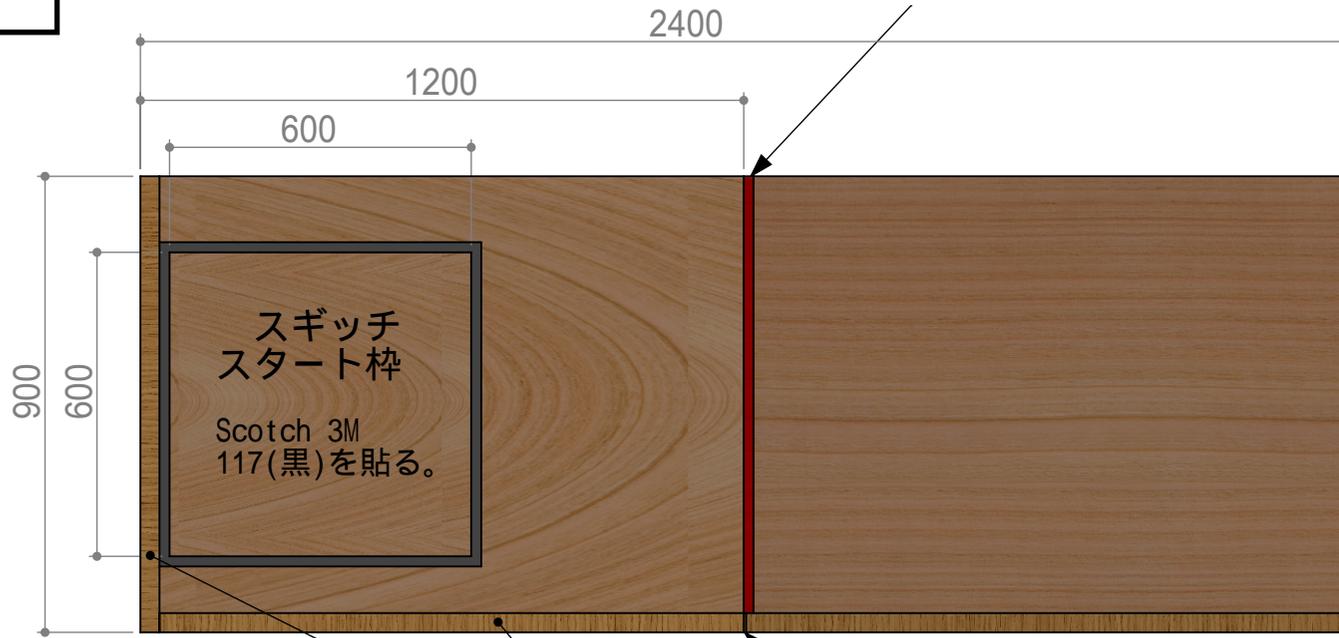


グリーンシート(中川ケミカ カッティングシート 425ビビットグリーン)
を貼り付けた上に

Scotch 3M 471 (白) 幅50mmを寸法値の中心に貼り、その上に
Scotch 3M 117 (黒) 幅19mmを貼り付ける。

妙技エリア + スロープ部 組立寸法図

妙技エリア到達
確認用ライン
Scotch 3M
117(赤)を貼る。

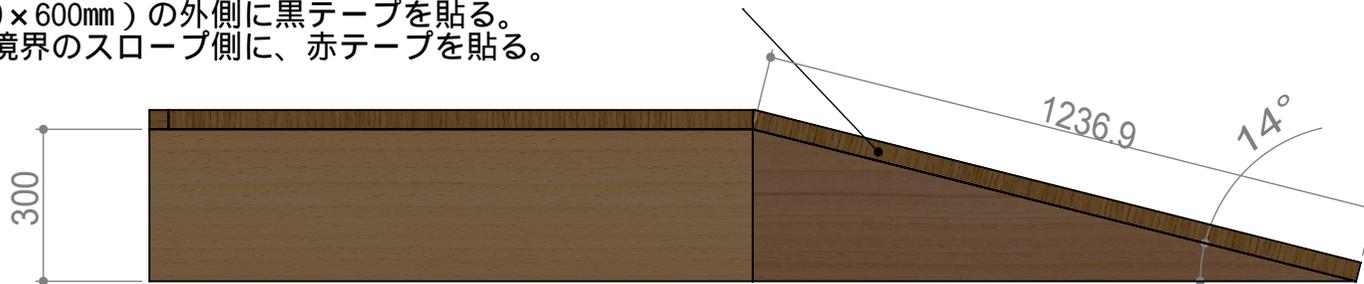


妙技エリア部 900 × 1200 × 300mm
スロープ部 900 × 1200 × 300mmをコンパネで加工する。

落下防止枠を背面、コース内面側2面にツーバイツ材で加工
スギッチスタート枠 (600 × 600mm) の外側に黒テープを貼る。
スロープと妙技エリアの境界のスロープ側に、赤テープを貼る。

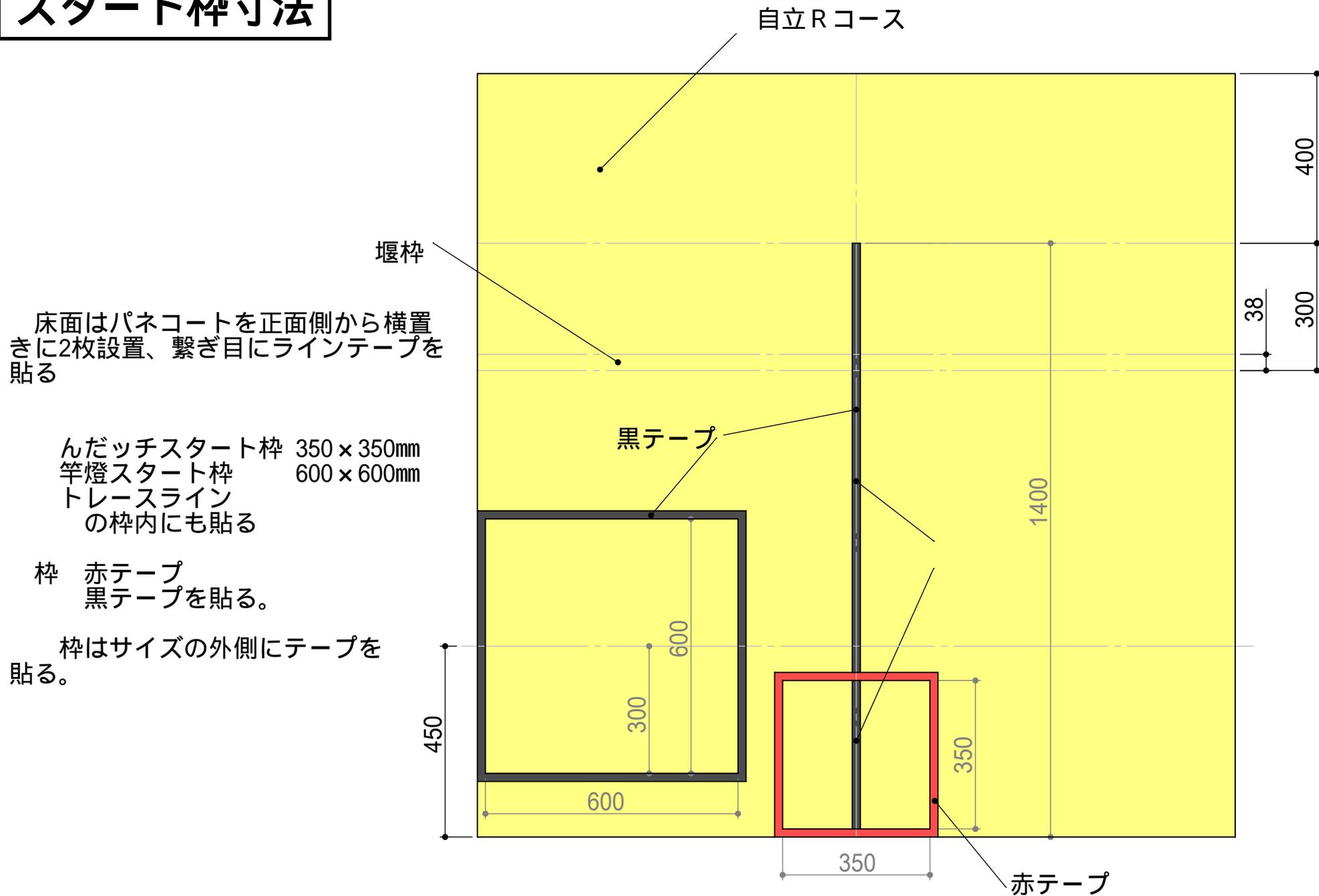
上面に合わせて面取り加工

ツーバイツ (2 × 2) 材を使用



スロープ先端はできるだけ段差の無いように加工する。

んだッチ・竿燈 スタート枠寸法



きりたんぼ台 設置位置枠 寸法図

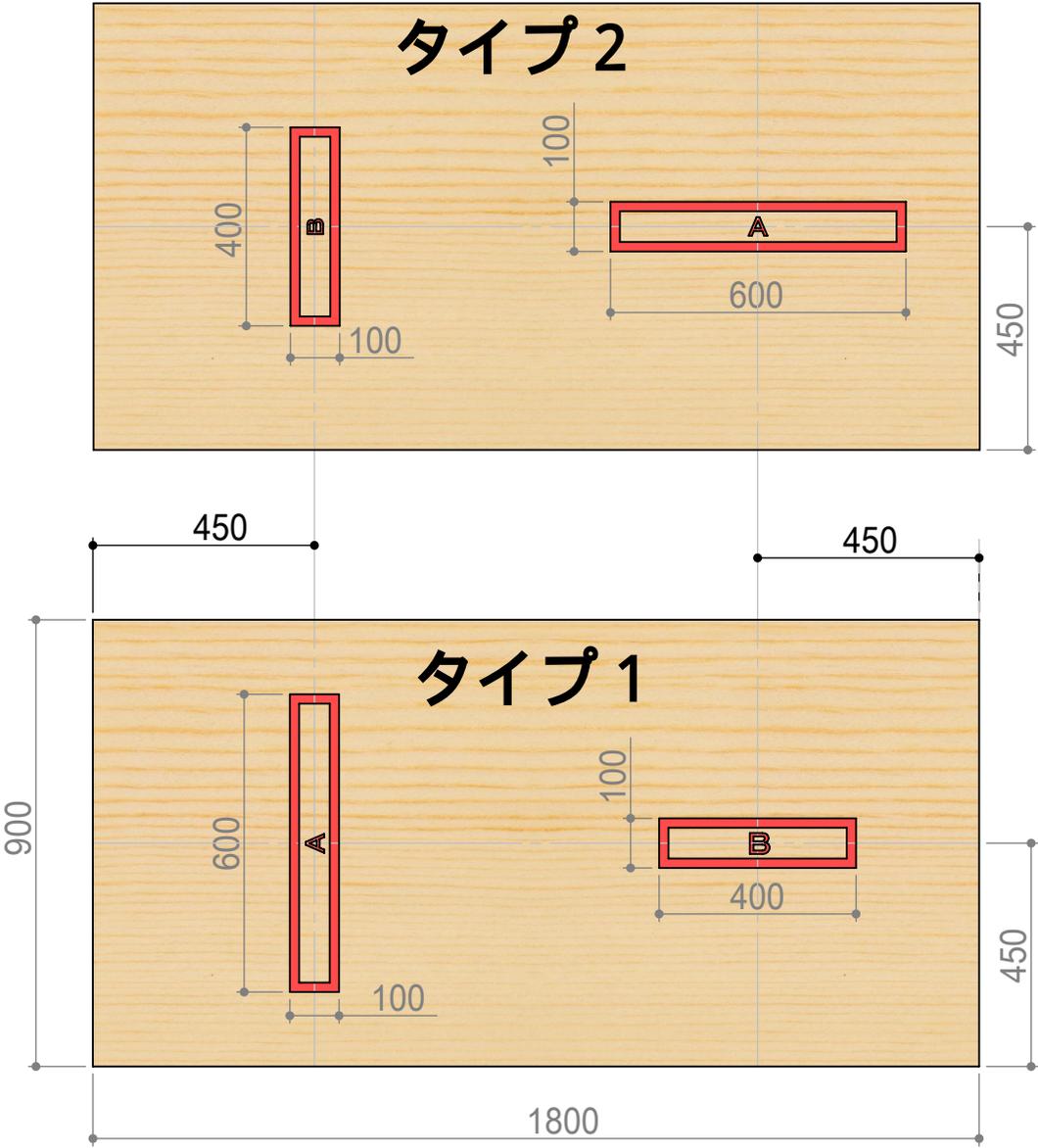
タイプ1 (下)
タイプ2 (上)

コンパネ材 (1800×900mm) を使用

各寸法位置を中心に「赤色」油性ペンで「きりたんぼ台A・B」と同サイズの枠を描く。

枠線の幅は任意とする。
本大会では10mm程度の枠とする。
枠内A・Bは記入不要

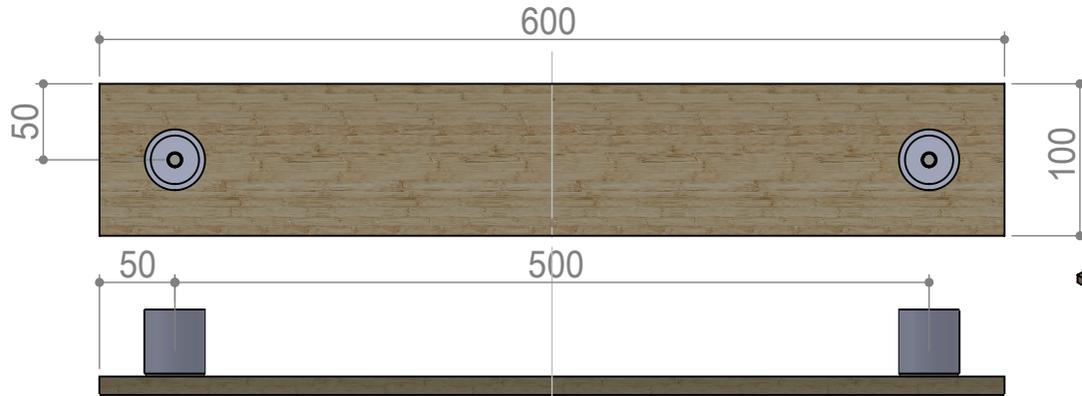
町内エリア側よりタイプ1、
タイプ2を交互に計4枚敷く。



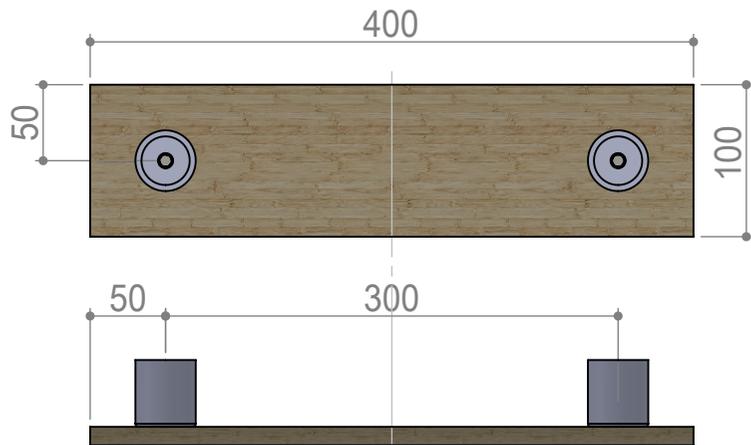
きりたんぽ台 製作寸法図

きりたんぽ台 A (JAS合板 600×100×t12mm)
 B (JAS合板 400×100×t12mm)
 の所定位置に 6.5mmの下穴加工後、爪付きTナット
 を底部側より打ち込み、板上に塩ビエンドキャップ
 TS-25CをM5ボルト・スプリングワッシャー・
 ワッシャーで固定する。

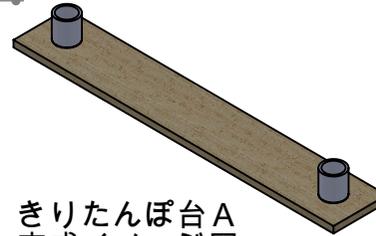
注 爪付きTナットの底部が板底に出ないように加工する。
 完成したきりたんぽ台 A・Bをコース内の指定枠に置く。



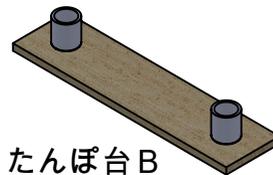
きりたんぽ台 A



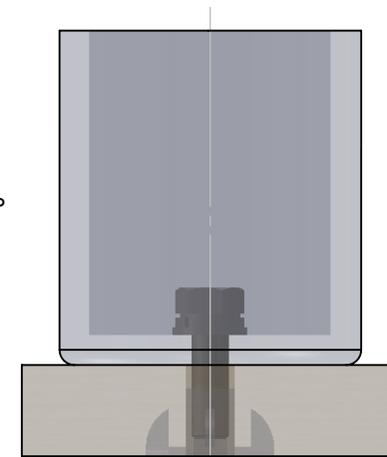
きりたんぽ台 B



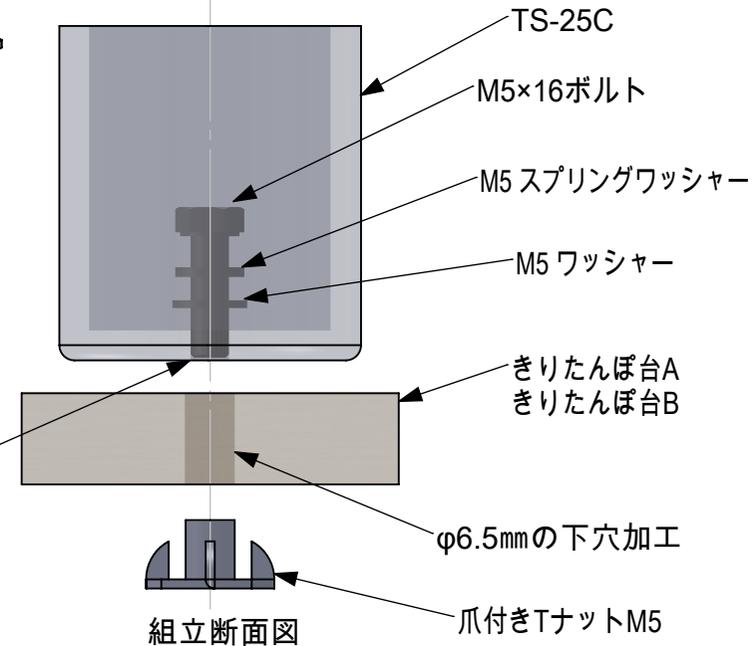
きりたんぽ台 A
完成イメージ図



きりたんぽ台 B
完成イメージ図

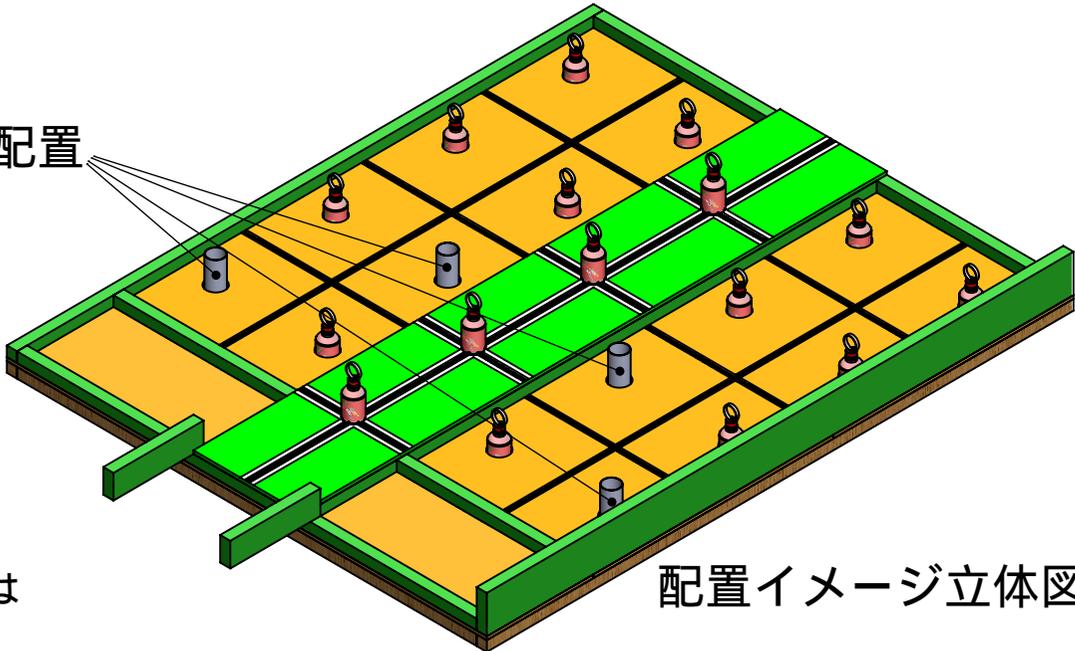


組立完成図 (断面図)



稲穂・かかし 配置図

かかし配置

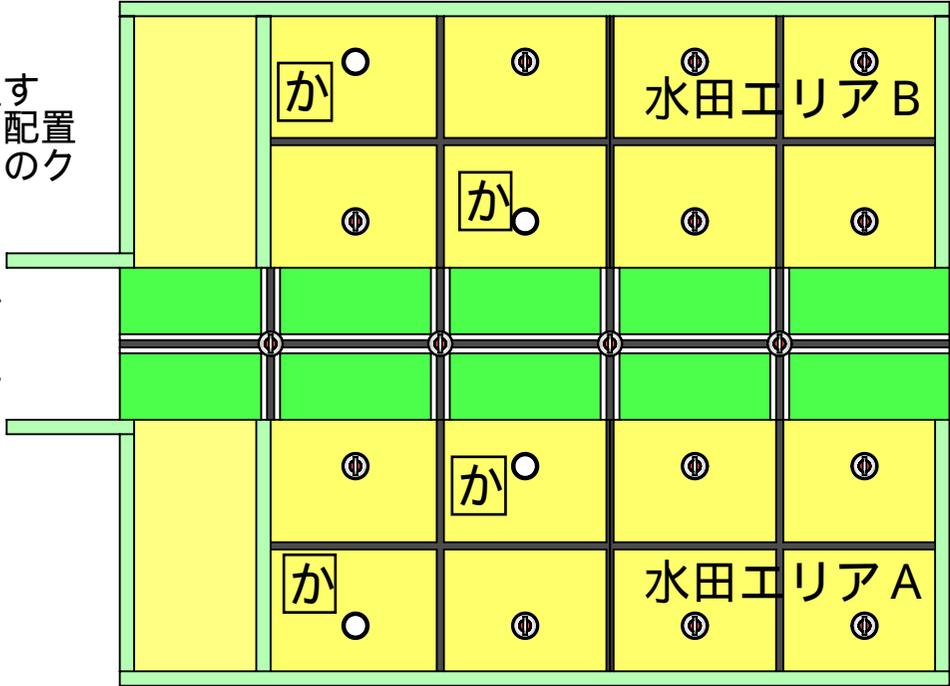


配置イメージ立体図

競技開始前の「稲穂」・「かかし」の配置位置は図の通りとする。

(平面図「か」の位置が、かかし配置位置)

かかしは、水田エリアA・Bに各2本、計4本配置する。(図参照) 「稲穂」は、各水田エリアのかかし配置以外の位置に計12本、畦道エリアのトレースラインのクロス上に計4本、合計16本配置する。



配置イメージ平面図

大会係員が、「稲穂」の輪の向きをコース左側面(自立Rスタート側)に向け設置する。競技者は、競技開始前の準備時間内に(自立R)が収穫しやすい状態に、輪の向きを変更しても良い。